

令和5年度第1回いわき湯本温泉ブランド化作戦会議

議 事 要 旨

○ 日 時

令和5年6月15日（木） 10:00～12:00

○ 場 所

いわき湯本温泉旅館協同組合 2階会議室



○ 出席者

- (1) 委員（5名）
渡部委員（座長）、滝口委員、奥川委員、薄羽委員、小泉委員
- (2) 事業担当課
都市建設部都市整備課、総合政策部創生推進課
- (3) 事務局
観光文化スポーツ部観光振興課、都市建設部都市計画課
- (4) その他
報道関係者等

○ 会議の流れ

- 1 開会
司会より開会の宣言
- 2 座長あいさつ
作戦会議座長である渡部委員より挨拶
- 3 事務局説明
本会議の役割等について、事務局（都市計画課）より説明
- 4 作戦
 - 4-1 公共空間整備に関するレビュー〔2件〕
事業担当課（都市整備課、創生推進課）より公共空間整備に関する計画（検討の進め方）の内容説明を行い、委員より助言・提言
 - 4-2 いわき湯本温泉の魅力や価値を高めるために必要な取り組みに関する意見交換
委員を中心に必要な取り組みについて、意見交換
- 5 閉会

○ 事業担当課、事務局の説明及び、専門家からの助言・提言、意見交換内容等（要旨）

△：事業担当課、事務局 ▲：委員

2 座長あいさつ

- ・行政、地域ともに縦割りではなく横の連携を大切にして進めていただきたい。
- ・ソフトコンテンツの積み上げを行っていきたい（ソフトコンテンツの積み上げがハード整備につながる）。
- ・まちのビジョンを基に図書館や温浴施設等を作るときには、図書館や温浴等のそれぞれのビジョンとコンテンツが必要である。

3 事務局説明

3-1 本会議の役割りについて

3-2 全体ロードマップ（案）と今年度の予定について

4 作戦

4-1 公共空間性に関するレビュー[2件]

(1) 急傾斜地法面調査設計の計画（検討の進め方）について

△安全性の向上を確保した上で、公園や周辺との景観性の向上について検討を進める。

△令和5年度に法面の調査・設計を行い、令和6、7年度に整備工事を行う。

▲構造物工を採用した場合でも、法枠内の緑化等の検討が必要と考える。

▲緑化の際は地元の植生に合わせた種子等の選定の検討が必要と考える。

▲法面緑化を行う場合は、維持管理の視点も必要と考える。

▲水の流れ（排水）に留意し、検討が必要と考える。

(2) 交流拠点施設整備の計画（検討の進め方）について

△令和4年度の可能性調査業務の結果として、公民連携の手法（DBO・PFI）での実施が望ましい。

△令和12年度の供用開始を目標として進める。

△令和5、6年度は計画検討を進める上で、官民対話を重ねる。

△令和5、6年度の検討は財務・金融・法律・建築等の様々な分野の専門的知識が必要であり、市役所だけでは足りない部分を補うため、業務委託を行う予定。

△土地形状については、交流拠点施設と共同店舗の計画のすり合わせを行い、土地区画整理事業により決定する。

△交流拠点施設と共同店舗の土地形状については、今年度の9月中には方向性を決めたい。

▲温浴施設・図書館・公民館等、交流拠点施設に導入する機能について、はそれぞれにコンセプトブックのようなものがあるべき。

▲ていねいに地域対話を行うことが必要であろう。

▲街が一番よくなるための施設と土地の配置の検討が必要と考える。

▲開放的な広場とを感じるには、建物とのつながりを含めた広場作りの検討が必要であろう。

▲JR管理用通路と広場の一体性を持ったデザインについての検討が必要であろう。

▲昨年度に実施した、「PPP/PFI導入可能性調査」についての結果が示されているが、まちづくりのビジョンや温浴のあり方の提示によっては、企業側の参画意欲も変わってくると思う。

▲実施予定のサンディングに際しては、進め方に留意する必要がある

4-2 いわき湯本温泉の魅力や価値を高めるために必要な取り組みに関する意見交換

・フラのアーカイブを活かしたコンテンツの導入に向けて、検討・調整が必要と考える。

・3ヶ所の温浴施設を一体で考え、整備を進められるような仕組みの検討が必要と考える。

・街全体のサイン計画の検討が必要と考える。

・観光アクティビティ実現のための地元や行政の座組の構築の検討が必要と考える。